

横浜こども科学館
第3期 指定管理者選定結果報告書

平成27年9月
横浜こども科学館
指定管理者選定評価委員会

横浜こども科学館の第3期指定管理者の選定にあたり、横浜こども科学館指定管理者選定評価委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の内容審査や公開プレゼンテーション及びヒアリング審査を行い、応募者の評価を行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

1 選定にあたっての評価の考え方

（1）選定方法

- ① 応募書類の内容審査
- ② 提案内容に基づくプレゼンテーション
- ③ ヒアリング
- ④ 応募団体の財務状況診断

（2）応募者の資格の確認

公募要項に定める「応募者の資格」「欠格事項」について、該当のないことを確認しました。

（3）評価の方法

選定委員会では、公募要項において、あらかじめ定めた「指定管理者評価基準」（別紙）に従って、総合的に審査を行いました。

なお、評価は、各委員100点満点の計500点満点とし、最低基準を300点としました。

2 選定結果

（1）応募団体

3団体から応募がありました。

（2）選定結果

選定委員会において、厳正な審査を行った結果、次の団体を指定候補者と決定しました。

順位	団体名
第1位（指定候補者）	コングレ・NTTファシリティーズ共同事業体
第2位（次点候補者）	ルネ・サイエンス横浜共同事業体
第3位	株式会社学研教育出版

3 得点

	選定の評価基準	配点	指定候補者	次点候補者	第3位
基本方針	(1) 施設管理運営の基本的な考え方	50	45	34	23
	(2) 施設管理運営の5年間の目標と計画方針	50	45	35	24
事業計画	(1) 事業実施に関する基本的な考え方	50	44	37	27
	(2) 計画的な事業展開について	125	105	87	69
	(3) 利用者サービス向上について	25	22	15	14
	(4) 地域や他機関等との連携・協働について	50	42	32	24
管理運営	(1) 運営体制に関する基本的な考え方について	50	45	40	26
	(2) 収支計画について	50	39	41	29
	(3) 施設の維持管理について	25	23	17	12
	(4) モニタリングの実施について	25	22	20	14
合計点数		500	432	358	262

※採点欄は、委員 5 人全員の合算点です。

3 審査講評

指定候補者については、現指定管理者であり、現状の分析が的確になされており、課題解決のための具体的な事業展開がはっきりしていて、説得力がありました。今後は、プラネタリウム等のコンテンツ入替えの仕組みづくりも検討し、さらに魅力ある事業を展開していただきたいと思います。

次点候補者については、団体の有するコンテンツの活用策や収支計画は魅力的であったが、利用者サービスの向上や地域連携に関する提案内容に実現可能性の検証を要する点が見られました。

第3位の応募者については、提案書では当該施設の地域性や特徴が生かしきれていないように感じました。

4 指定候補者 選定の経過

経過項目	日程
◆第1回選定委員会（傍聴者4名） 1 選定スケジュールについて 2 公募要項・業務の基準・審査の基準について	平成27年6月3日（水）
公募書類の配布（ホームページにて公表）	平成27年6月19日（金）～ 8月14日（金）
現地見学会兼公募説明会 ※申込みは、平成27年6月19日（金）から7月 3日（金）17時まで（申込団体8団体）	平成27年7月14日（火）
公募に関する質問受付（4団体、19問）	平成27年6月19日（金）～ 8月7日（金）
応募書類の提出（3団体）	平成27年8月10日（月）～ 8月14日（金）
◆第2回選定委員会（傍聴者1名） 1 公開プレゼンテーション 2 ヒアリング	平成27年9月18日（金）

5 選定委員会 委員（50音順）

委員長 北村 克久 鎌倉女子大学 教育学部 准教授
 委員 内海 宏 特定非営利活動法人 アクションポート横浜 理事
 為崎 緑 中小企業診断士
 三上 勇夫 洋光台まちづくり協議会 会長
 村井 良子 有限会社プランニング・ラボ 代表取締役

(別紙)

横浜こども科学館指定管理者評価基準

評価項目	内容	配点
1. 基本方針		20
(1)施設管理運営の基本的な考え方		
ア 役割、課題に対する考え方	横浜市の青少年育成施策を踏まえ、青少年を取り巻く現状と課題、当該施設の役割を示してください。	5
イ 管理運営に関する考え方	「横浜子ども・子育て支援事業計画」における子ども・青少年の育成施策の推進を踏まえた、当該施設管理運営の基本方針を示してください。	5
(2)施設管理運営の5年間の目標と計画方針		
ア 目標について	指定期間の達成目標と中期的目標を示してください。	5
イ 計画方針について	目標を実現していくための計画方針を示してください。	5
2. 事業計画		50
(1)事業実施に関する基本的な考え方		
科学体験の普及・振興のための考え方 や方針について	科学体験の普及・振興のための具体的な考え方や方針を示してください。 科学に関する専門知識や最新の情報の取得のための具体的な考え方や方針 を示してください。	10
(2)計画的な事業展開について		
ア 指定事業の実施計画について	利用者ニーズ、地域や施設の特性を踏まえ、指定事業の実施計画と効果を具 体的に示してください。	10
イ 自主事業の実施計画について	科学体験の重要性や地域の特色、利用者ニーズなどを踏まえ、自主事業実施 の目的、実施計画、効果を示してください。	10
ウ 改修後の2階フロアの有効活用に向 けたアイデアについて	施設の課題、利用者ニーズを踏まえ、施設の魅力や利用者サービスの向上に つながるような、改修後の2階フロアの有効活用について具体的な取組を示し てください。 (※1～4参照)	5
(3)利用者サービス向上について		
利用者サービス向上のための取組及 び広報活動・利用促進について	施設の運営・サービス提供に関して、より利用しやすい工夫など、利用者ニ ーズへの対応について具体策を示してください。 広報活動・利用促進について具体的な実施策を示してください。	5
(4)地域や他機関等との連携・協働について		
ア 地域との連携・協働について	具体的な実施策を示してください。	5
イ 学校、青少年関係団体や企業等 との連携・協働について	具体的な実施策を示してください。	5
3. 管理運営		30
(1)運営体制に関する基本的な考え方について		
ア 効率的かつ安定的な運営体制の 確立及び人材育成について	効率的かつ安定的な運営を図るための体制を示してください。 職員の育成、資質向上のための取組を示してください。	5
イ 危機管理及び個人情報保護の取 組みについて	安全管理、危機管理への具体的な提案と、事故防止に向けた対策を示してくだ さい。 個人情報保護に対する取組について具体的な取組を示してください。	5
(2)収支計画について		
ア 収支計画と無駄な支出の抑制策に ついて	指定期間の収支計画について具体的に示して下さい。	5
イ 財務経営状況について	施設を継続的、安定的に運営するための財政的基盤を示してください。	5
(3)施設の維持管理について		5
(4)モニタリングの実施について		5
		100
<p>※1 アイデアの提案内容は横浜こども科学館条例第1条の設置目的の効果的な達成に資するものとし、(営利企業等に運営を委ねるカフェやレストランなど、営業行為を主たる目的とする事業は想定していません)。</p> <p>※2 アイデアを提案するための経費は原則として指定管理者の負担です。</p> <p>※3 提案された提案内容の実施の可否及び実施方法・時期などについては、今後、指定管理者と市が協議の上、決定します。</p> <p>※4 指定候補者となった場合、提案されたアイデアに関する権利は市に帰属します。</p>		